



愛知県保護者会たより

第50回全日本大学駅伝対校選手権大会

文責 3年副会長 永田 敦士
写真 1年副会長 箕浦 安信



愛知県保護者会会員の皆様、平素は保護者会活動へのご参加、ご協力ありがとうございます。

先日（11月4日）に行われた全日本大学駅伝対校選手権大会に愛知県保護者会として参加（応援）させていただきました。

この大会は、正式には「秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選手権大会」であり、男子大学駅伝では、出雲駅伝、箱根駅伝と共に、男子の三大大学駅伝の一つとされ、その歴史も長く、今年は50回の記念大会になります。その名前のとおり優勝校には「秩父宮賜杯」が贈られ、各地区から出場している27チームが、その栄冠を勝ち取るため、毎年熱い戦いを繰り広げています。

当日の名古屋市の最低気温は12.9℃、雨が少しばらつく生憎の天気となりました。

7時00分、各大学の応援団が一斉に賑やかな応援を開始し、熱田の森に熱い歓声が響き渡ります。

日体大応援団もチアリーダー、プラスバンド部が一体となって応援し、私たちものぼり旗や横断幕を手に応援しました。



応援は8時までと決まっており、応援団の学生たちは7時から8時までの1時間、休むことなく一生懸命応援を続けてくれました。



スタート時間が間近になると、先程まで歓声が止み、スタート地点周辺に静寂が訪れます。

そして8時05分の号砲を合図に各選手が堰を切った川の水のように勢いよくスタートしました。

選手たちが目の前を通り過ぎるのは本当に一瞬ですが、全員が大きな声で声援をし、日体大の健闘を祈りました。

応援終了後には、応援に来ていただいた方々に日体大グッズ（タオル・手袋）の配布をし、のぼり旗もご希望の方には記念にプレゼントさせていただきました。その後、全員で記念撮影をしてスタート地点での応援は終了とさせていただきました。

早朝にもかかわらず応援に来ていただきました、保護者の皆様をはじめ、愛知県同窓会の皆様、日体大ファンクラブ愛知の会の皆様、本当にありがとうございました。

早朝にもかかわらず応援に来ていただきました、保護者の皆様をはじめ、愛知県同窓会の皆様、日体大ファンクラブ愛知の会の皆様、本当にありがとうございました。





熱田神宮のスタート地点を後に、伊勢のゴール地点へと移動しました。

三重県内では、三重県保護者会が第2区～第8区のゴール地点の7区間すべての応援体制を整えてくれています。

伊勢では神田副会長をはじめ、三重県保護者会の皆様と合流し愛知県保護者会は神宮会館前を起点に応援を行いました。



伊勢のゴール地点は、人が多く応援場所をキープするのが難しいのですが、今年も雨の中、三重県保護者会の方々がスタート前の早朝より応援場所を確保してくださいました。

ゴール地点では三重県保護者会の皆様、神宮会館前では愛知県保護者会が応援体制を整え、全8区、106.8kmのレースを終える選手たちの到着を待ちました。

日体大は途中、シード圏内の8位に手が届く順位まで追い上げを見せましたが、最終的には12位となり、残念ながら来年のシード権を確保

することはできませんでしたが、応援した私たちの方が選手の皆さんから今大会を通じ多くの感動や勇気ももらいました。

悔しい思いや今後の課題などあると思いますが、次の箱根への糧として欲しいと願っています。





競技終了後には陸上競技部のご厚意により、報告会を開催していただき、監督、選手代表より今回の駅伝の報告と来年の箱根駅伝に向けての抱負をいただきました。

最後に、ご多忙の中お越しいただいた大学関係者の皆様、同窓会の皆様、三重、愛知両県の保護者会及び役員の皆様、日体大ファンクラブ愛知の会の皆様、早朝よりご尽力いただきました誠ありがとうございました。

来年の全日本大学駅伝も何卒応援のご協お願いいたします。





編集後記

今年は残念ながらシード権を得ることができませんでしたが、悪コンディションの中、選手諸君は力を出し切ってくれたと思います。今回のそれぞれの想いが次の箱根や、来年の出雲、伊勢路への糧となっていくと思いますので、今後も練習に励み頑張ってくださいと思います。

三重県保護者会の皆様には本当にお世話になりました。

全日本駅伝は、東海3県の協力体制なしにはできない行事です。今後ともよろしくお願ひいたします。

(3年副会長 永田敦士)